

○ 排泄ケア × 緩和ケア

ちよっぴりホットな緩和ケア

～あなた大切にしている尊厳はなんですか～

2021年11月13日

医療法人綾正会 かわベククリニック

看護師 川邊 綾香

ELC協会認定ファシリテーター



初回訪問で大切にしていることは何ですか？



解決できることは解決すること。
まずは、症状緩和です。



初回訪問でここまで苦しみを聴くことができるのですか？



できます！

信頼関係の構築に時間は関係ありません。苦しんでいる人は自分の苦しみをわかってくれる人がいると嬉しい。わかってくれる人にあるための聴き方。反復、沈黙、問いかけ、という援助的コミュニケーションの技法を用いる。



解決ができない苦しみを訴えられた時、
どうしますか？



解決できない苦しみの多くはスピリチュ
アルな痛み。

反復と沈黙を用いて、苦しんでいる人の
話を丁寧に聴く。

苦しんでいる人は自分の苦しみをわかっ
てくれる人がいると嬉しい。



援助的コミュニケーションの一つである 沈黙の意味とは何ですか？



よいことを言おうと思う時、ついつい相手の沈黙を待たなくて、励ましたり、勇気づける言葉を伝えたくなったりする。人は大切なことを話すときにはエネルギーを必要とするため、時間が必要。沈黙がないと、何か言いかけた思いが、急にしぼんでしまい言い出せなくなる。私は待つことに徹します。

<参考>「沈黙」と「間」

◆間をとる（重たいメッセージのときは、間を取ることも技法の1つ）

- 相手：なんでこんな病気になったのでしょうか。

間

- 私：なんでこんな病気になったのでしょうか…、
という思いですね。

相手：…

(間)

私：…

(沈黙)

相手：…

◆沈黙する（相手の言葉が出るのを待つ）

- 相手：昨日の夜、眠れなくて悶々としていました。
- 私：昨日の夜、眠れなくて悶々としていたのですね。

沈黙

- 相手：私、このまま病気が治らないかと思うと、心配になって、
昨日は一睡もできませんでした。



援助的コミュニケーションの一つである
問いかける時のポイントは何ですか？



信頼関係が構築されていることが条件。
その上で注意すべきことは、相手の話の
内容が悪い結果である可能性がある。
私たちは「聴く」心の準備をしておく必要
がある。

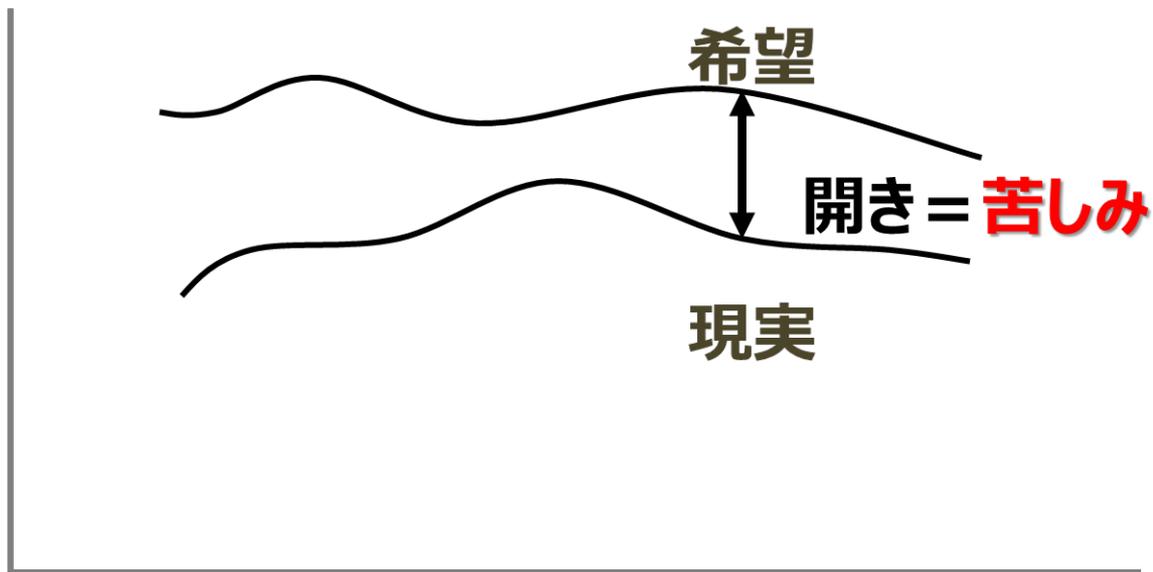


『解決できない訴え』が続いた時、どのように対応していますか？



まずは話を聴き、希望と現実の開きである苦しみは何かを考える。
そして、次に、支えは何かを考える。
ここで少しだけ解説！

苦しみの構造



舞子さんの苦しみ

自分でできることはやりたいけどできない。

希望：自分でできることはやりたい

現実：自分でできない

お母さんに迷惑をかけている。

希望：お母さんの役に立ちたい

現実：お母さんに迷惑をかけている

達也とお母さんと離れたくない。

希望：達也とお母さんと離れたくない

現実：旅立ちが近づいている



舞子さん



病状が進む舞子さん。
私たち援助者がすべきことは何でしょう
か？



最期まで役割を与え、患者さん・家族さん
を支えること。
舞子さんの母としての役割を取り上げない。
負担のないようなやり方を提案する
など、最後まで支えるのが私たち援助者
の務め。



ホームページ QRコード



Facebook QRコード

ご清聴ありがとうございました。



YouTube QRコード